

証券コード：5964

会社説明会

2018年12月3日



東洋双物株式会社

1. 東洋刃物の概要

2. 東洋刃物の強み

3. 業績推移

4. 今後の計画と展望

5. 株主還元

1. 東洋刃物の概要

2. 東洋刃物の強み

3. 業績推移

4. 今後の計画と展望

5. 株主還元



家庭用の包丁やハサミではありません



製造現場で使われる刃物です



設立	1925年（大正14年）8月9日
本社所在地	宮城県富谷市富谷日渡34番地11
代表者	清野芳彰
連結従業員数	263人 ^{*注1}
資本金	5億円
上場取引所	東京証券取引所（第二部）
時価総額	22億46百万円
配当利回り	0.70% ^{*注2}



代表取締役社長 清野芳彰



従業員一同

* 2018年9月末時点

*注1 2018年9月末時点

*注2 2019年3月期配当予想と2018年9月28日終値より算出

韓国

● ■ 東洋鋼業株式会社
(持分法適用関連会社)

● : 生産拠点

■ : 販売拠点

中国

■ 上海東優刃物国際貿易有限公司
(連結子会社)

*注2

国内拠点

● 生産拠点
富谷 (宮城県)
多賀城 (宮城県)

■ 販売拠点
仙台、東京、名古屋
大阪、広島

マレーシア

■ クアラルンプール支店、シブ事務所

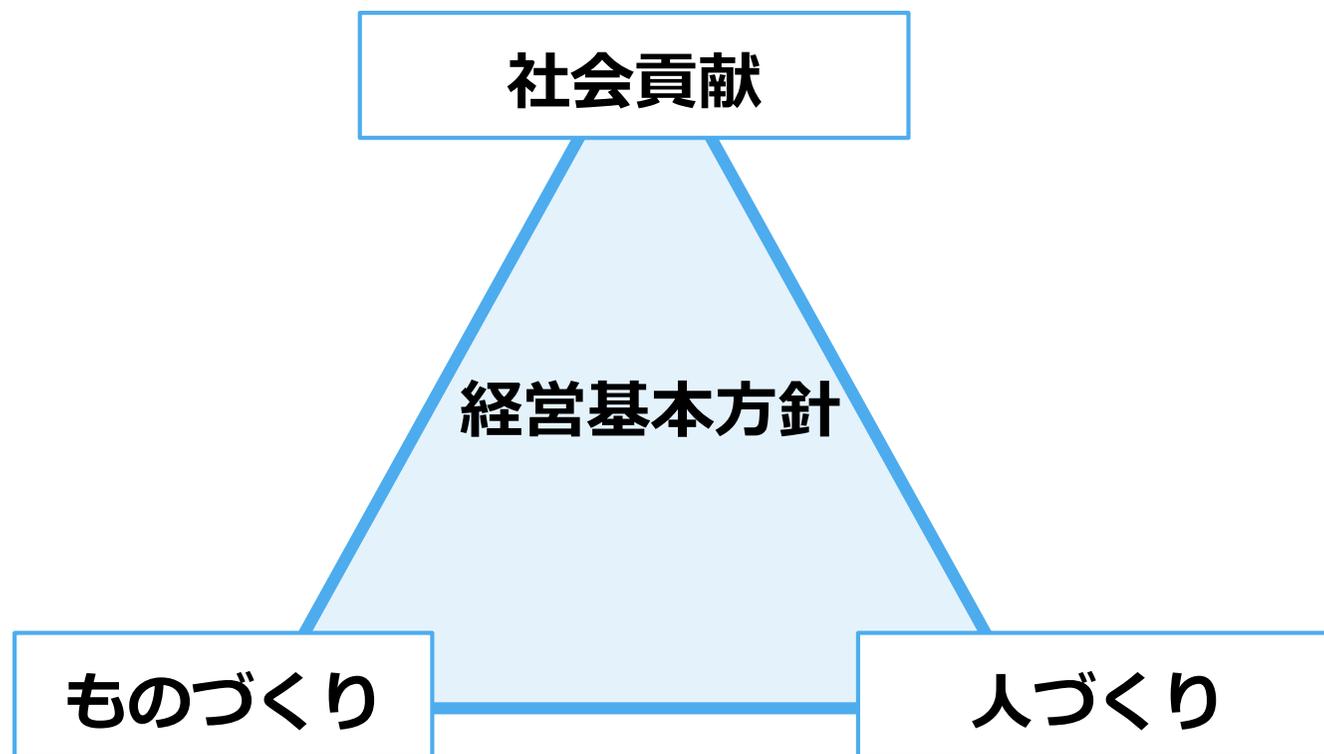
連結子会社

株式会社トオ八 *注1
熱研工業株式会社
東洋緑化株式会社

*注1 2018年10月1日吸収合併 (別添 平成30年8月17日開示「連結子会社 (熱研工業株式会社) の吸収合併 (簡易合併・略式合併) に関するお知らせ」)

*注2 持分譲渡契約締結済 (別添 平成30年8月10日開示「連結子会社の異動 (持分譲渡) に関するお知らせ」)

社是「創造と信頼」



設立

1925年（大正14年）

当時は、工業用機械刃物はほとんどが輸入品



国産の工業用機械刃物製造のため

金属学の世界的権威の東北帝国大学（現東北大学）

金属材料研究所所長・本多光太郎博士の提唱により設立

「産学連携」の会社として

現在も東北大学と
共同で研究・開発を行っております。

1960年

多賀城工場新設



1961年

東証第二部上場



1970年

富谷工場新設



1973年の富谷工場



2018年の富谷工場

2011年

東日本大震災

本社・多賀城工場が被災

2012年

**多賀城工場で
一部生産を再開**

2016年

**地域中核企業活性化ファンドと
資本業務提携**



2011年3月15日 多賀城工場



2017年9月4日 多賀城事業所（旧多賀城工場） 9

緑化造園

産業用機械及び部品



刃付平面研削盤



スライドウェイ



10%
緑化造園

90%
工業用刃物類及び
産業用機械・部品

情報産業用刃物類



スリッターナイフ



高精度移動式ホルダー



スリッティングユニット

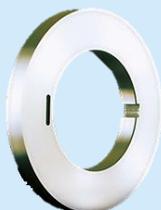


コーティングダイ

鉄鋼用刃物類



シャープブレード



サイドトリマーナイフ



メカニカルエキスパンドダイス

製紙パルプ・食品用刃物



ダンボールカッター



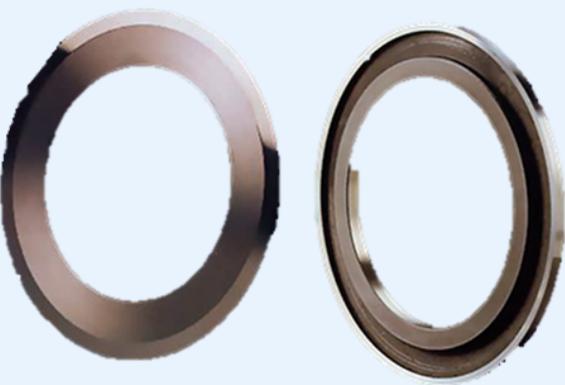
ミートスライサー



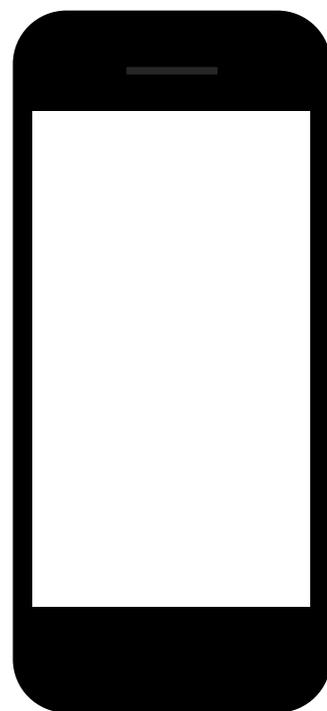
ログティッシュカッター

スマートフォン部品の切断

スリッターナイフ



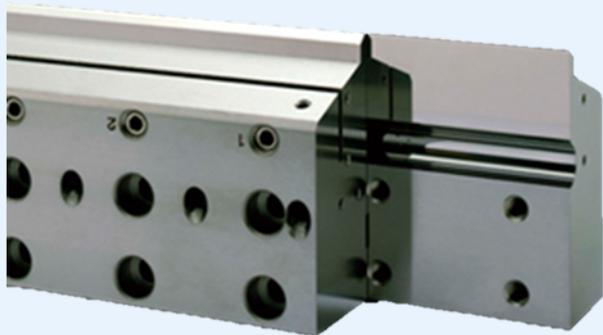
スマートフォン内部の部品を切断



スマートフォン分解図

液晶パネルの加工

コーティングダイ

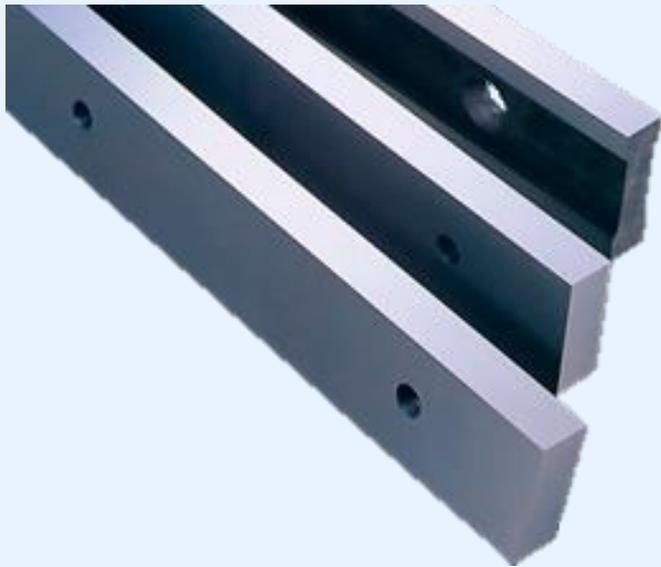


あらゆる液晶に薬品を塗布



自動車鋼板の切断

シャープブレード



自動車のボディやピラーを切断



鋼管の加工

メカニカルエキスパンダダイス



石油・天然ガスを輸送する
鋼管の真円成形



ダンボールの切断

ダンボールカッター



多用途のダンボールを加工



トイレットロールの切断

ログティッシュカッター



家庭用のトイレットロールを切断



食品のカット

ミートスライサー

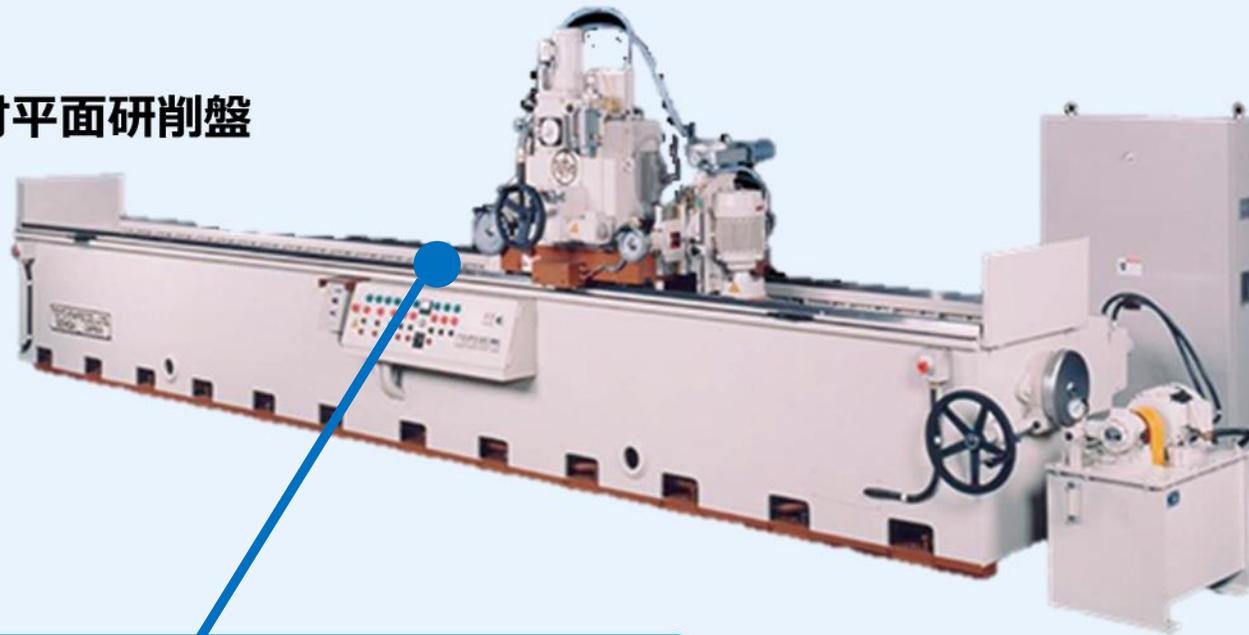


お肉をスライス



産業用機械・部品の加工

刃付平面研削盤



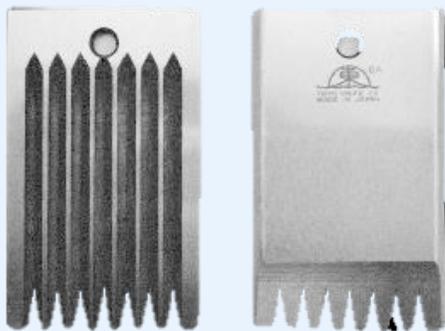
機械の摺動面に使われる



摺動部品 (スライドウェイ)

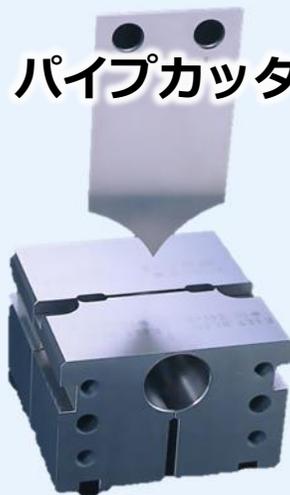


トレッドカッター



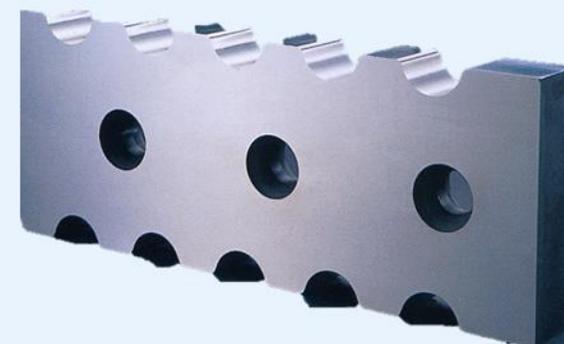
タイヤのヒゲ除去切断用

パイプカッター



パイプ切断用

コールドシャー



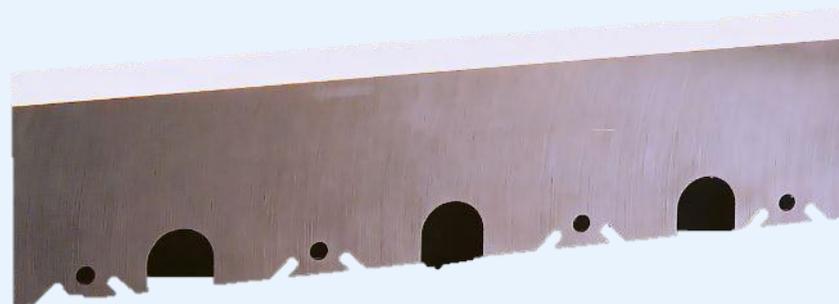
棒鋼、アングルバー切断用

ダイセット



ガードレール等形鋼の切断用

チップナーナイフ



パルプ木材をチップ状に切断

1. 東洋刃物の概要

2. 東洋刃物の強み

3. 業績推移

4. 今後の計画と展望

5. 株主還元

□ 創業90余年で培った確かな技術力

高精度移動式ホルダー（第6回みやぎ優れMONO認定製品）

◆ 高精度移動式ホルダーとは

金属箔やフィルムを切断する際、

加工機に刃物を取り付けるために必要不可欠な部品



◆ 課題であった利便性と精度の両立を実現

（振幅が100 μ m→30 μ m以下に）

◆ 刃物のセッティング時間も短縮

お客様の生産性向上に貢献し、高い評価をいただいております。

登録特許：8件

特許出願中：3件

意匠登録：8件（日本・中国・台湾）

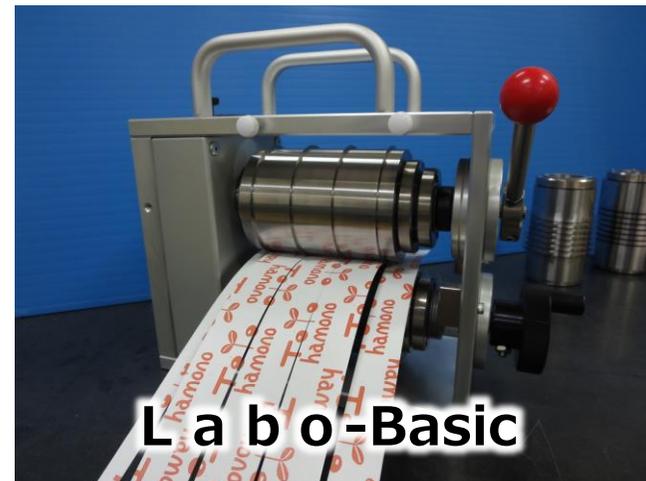


□ 創業90余年で培った確かな技術力

Laboシリーズ

◆ Laboシリーズとは

場所を選ばず手軽にスリットできる小型試験機



◆ これまで5機種を開発

より簡単な環境で切断試験を行いたい

というご要望により新製品を開発

生産ラインを止めずに自社で気軽に切断試験ができ、
お客様より大変ご好評をいただいております。



□ 創業90余年で培った確かな技術力

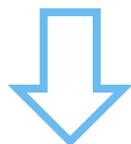
CCM合金

◆ CCM合金とは

硬く、欠けにくく、錆びにくい金属素材

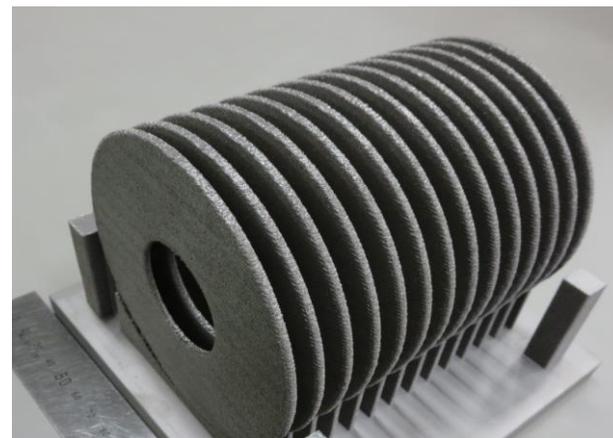
◆ 開発経緯

東日本大震災海水による塩害→錆びにくい刃物の開発



◆ 東北大学との共同研究

- ・ “金属版3Dプリンター”により製造
- ・ 課題であった硬度と欠けにくさの両立を実現
- ・ 高硬度、高靱性（=欠けにくい）、高耐食性の素材を初めて開発



登録特許：1件
特許出願中：1件

□ 幅広い顧客基盤



当社は刃物の製造技術を応用し、各種部品も製造

様々な分野で使われており、約3,500社のお客様と取引しております。

1. 東洋刃物の概要

2. 東洋刃物の強み

3. 業績推移

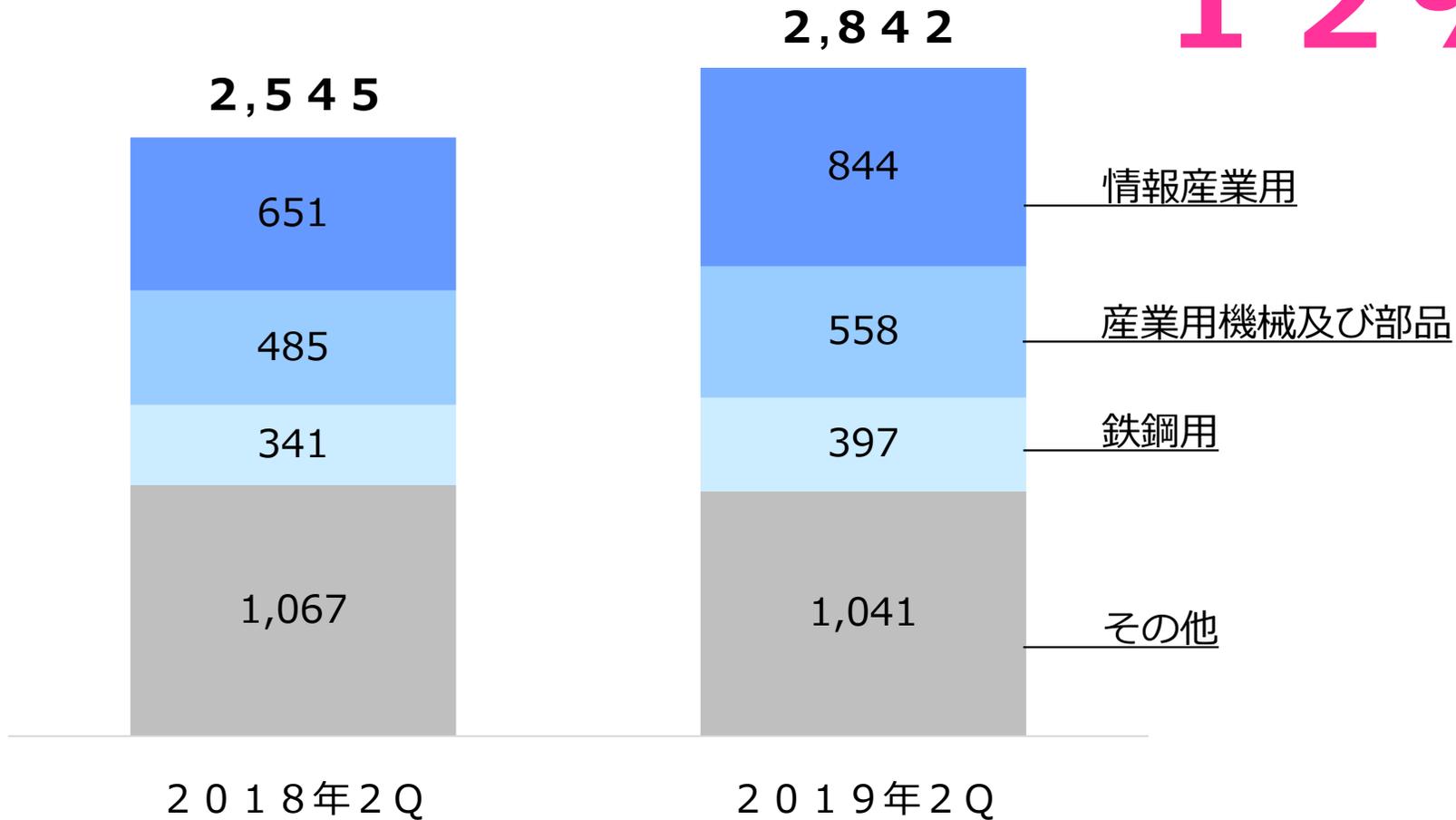
4. 今後の計画と展望

5. 株主還元

売上高

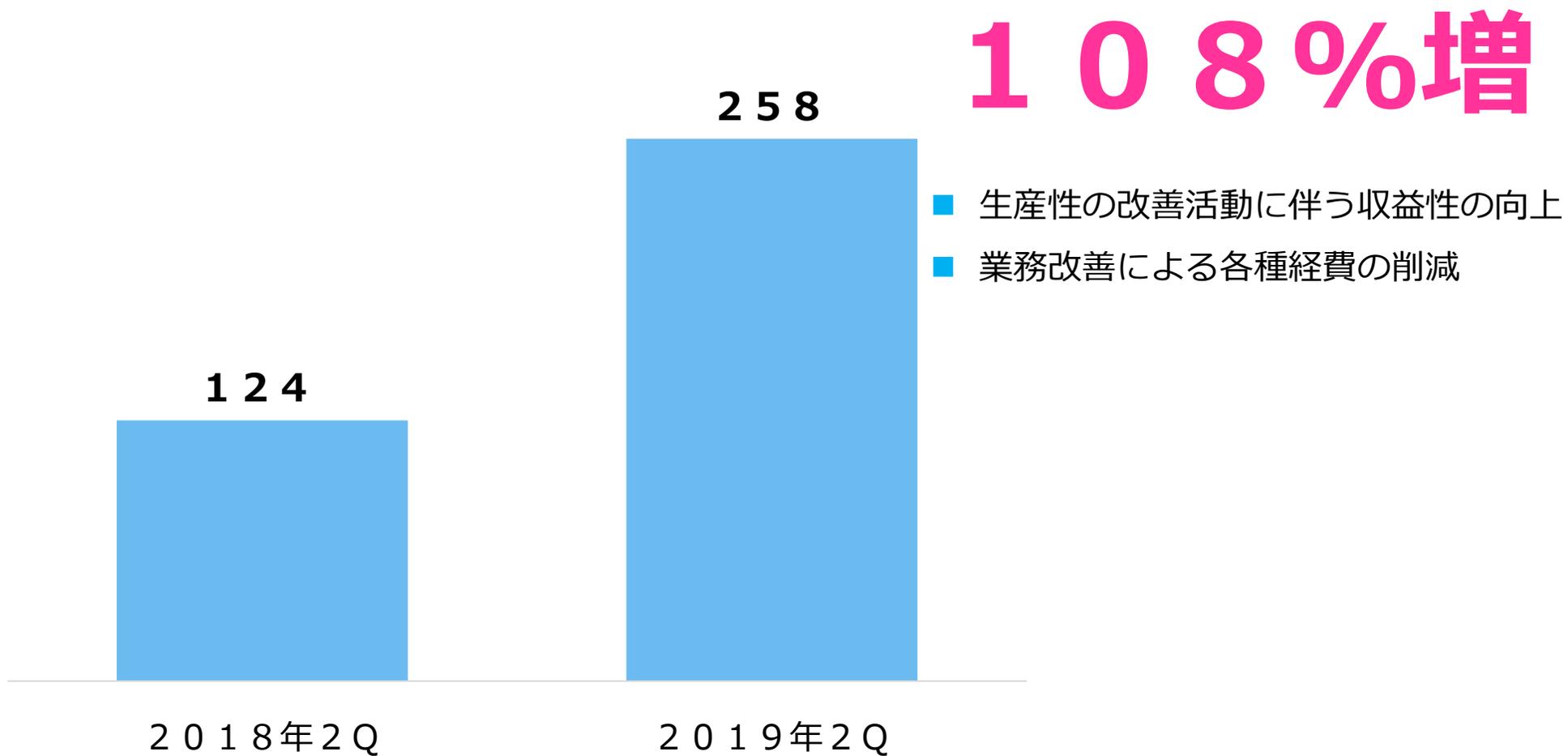
(単位：百万円)

12%増



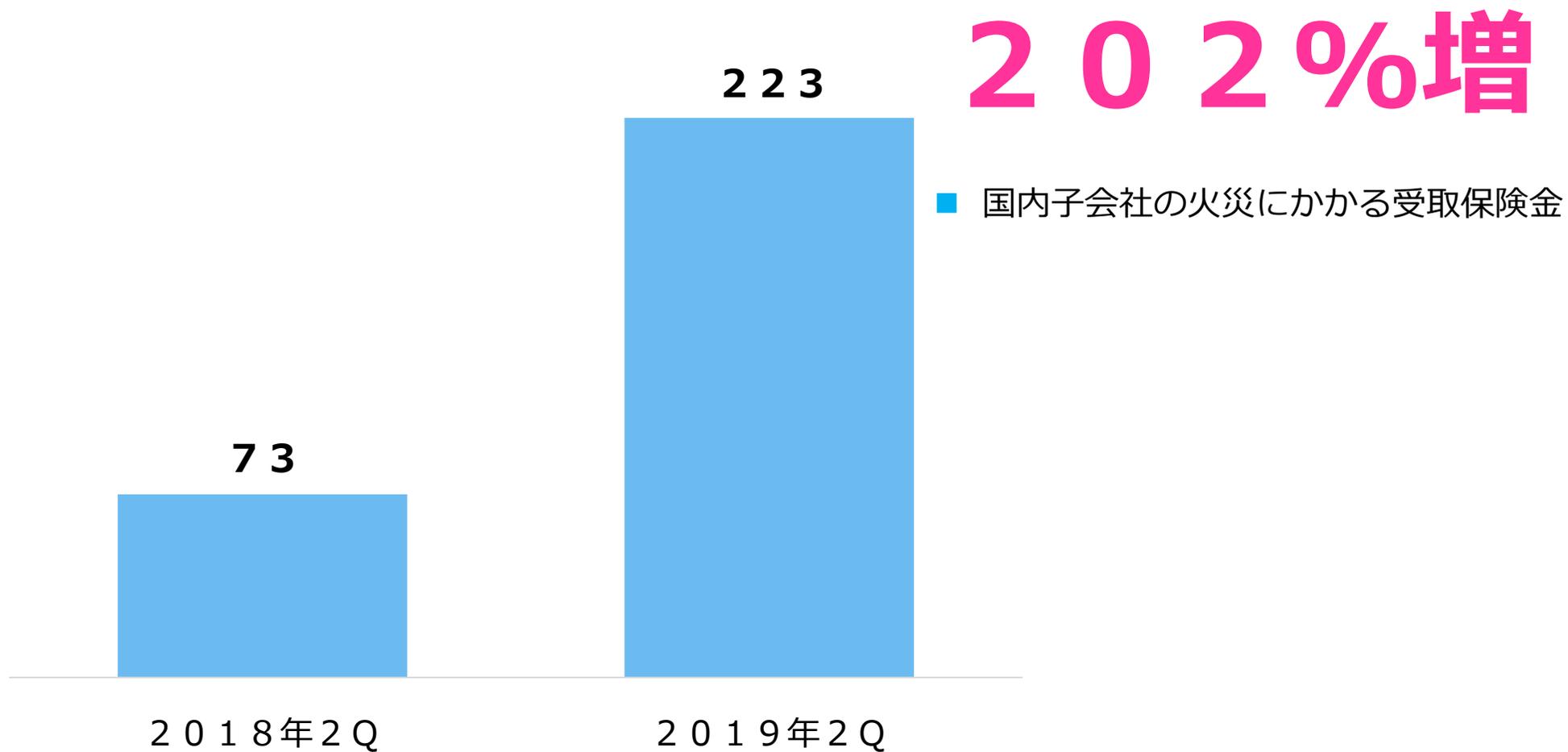
営業利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



1. 東洋刃物の概要

2. 東洋刃物の強み

3. 業績推移

4. 今後の計画と展望

5. 株主還元

中期経営計画期間

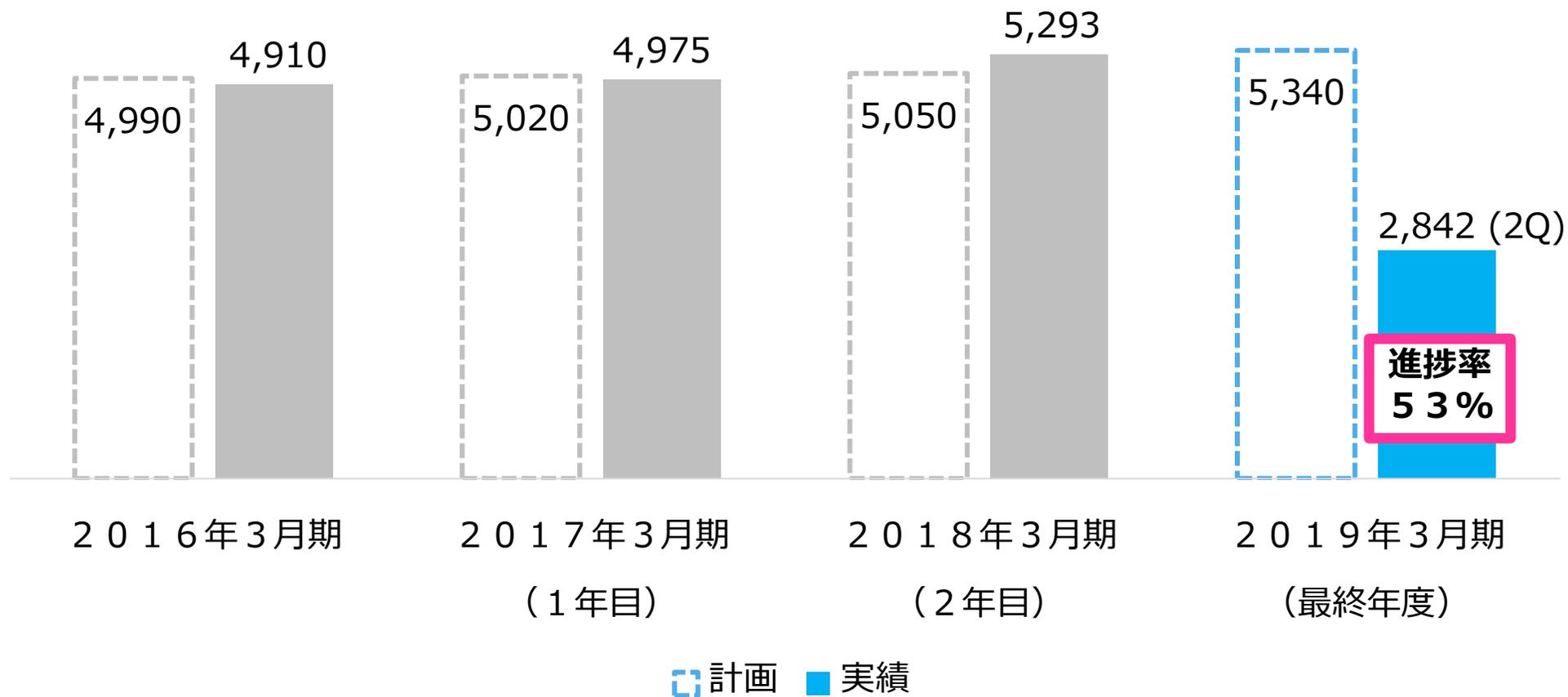
2016年4月1日から2019年3月31日まで

3つのビジョン

- 高品質・高付加価値品の製造を目指す
- 超精密部品の加工において随一のメーカーとしての地位を確立
- 高精度精密製品の売上高構成比率を50%以上を目指す

(単位：百万円)

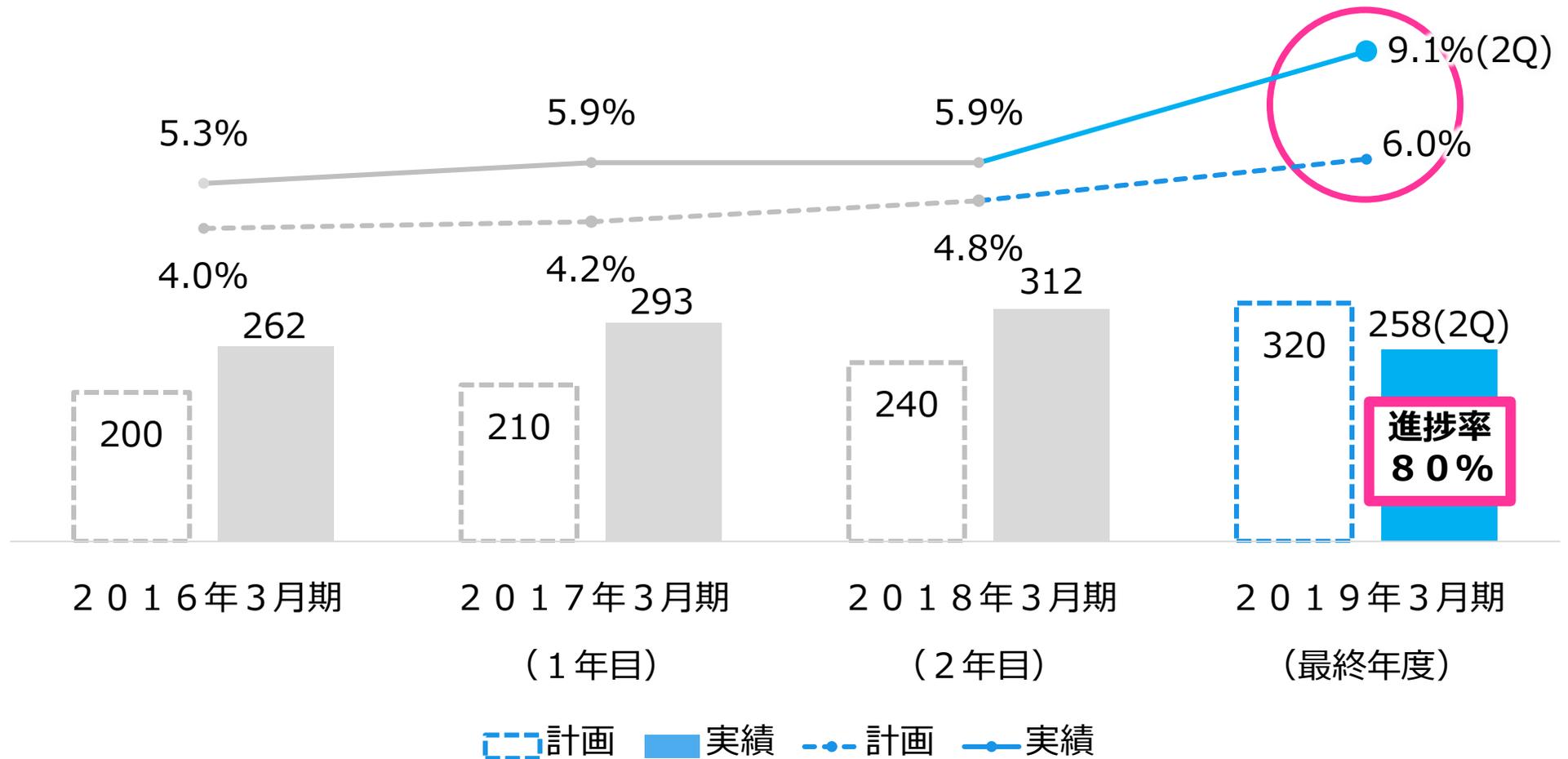
売上高



(単位：百万円)

営業利益（率）

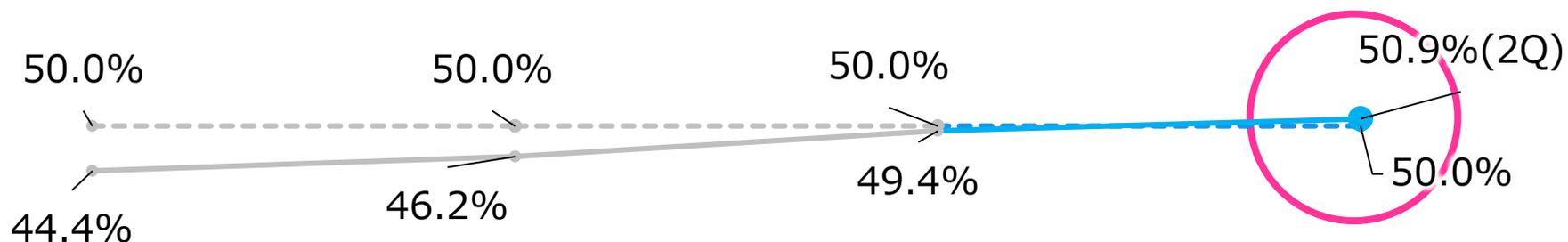
計画達成



(単位：%)

高精度精密製品売上高構成比率

計画達成



2016年3月期

2017年3月期

(1年目)

2018年3月期

(2年目)

2019年3月期

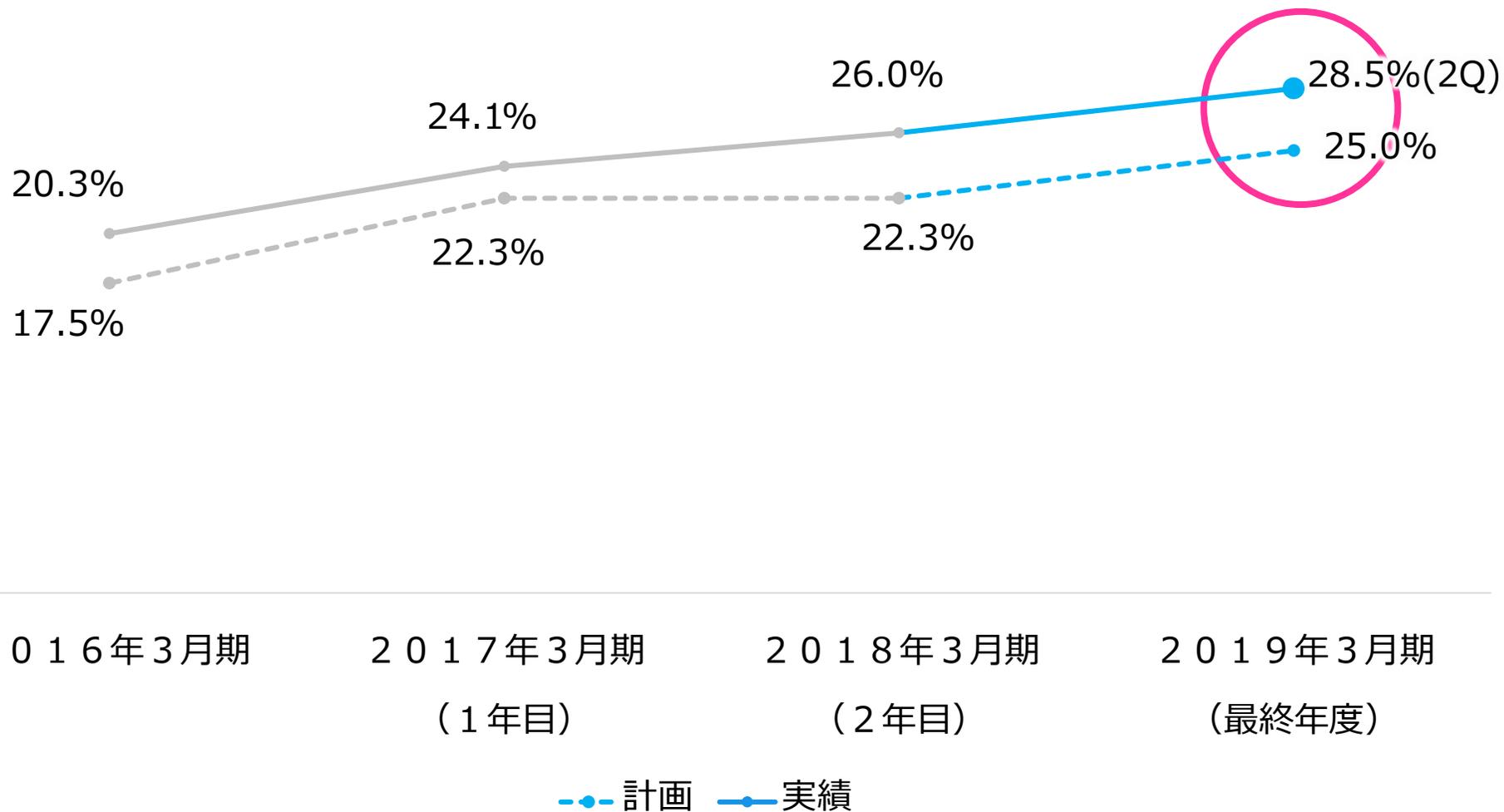
(最終年度)

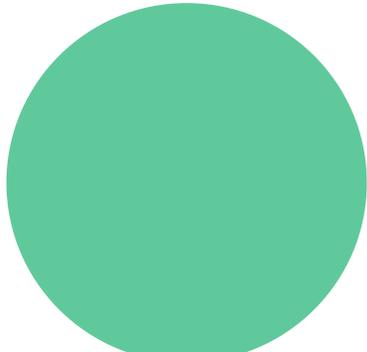
--- 計画 —●— 実績

(単位：%)

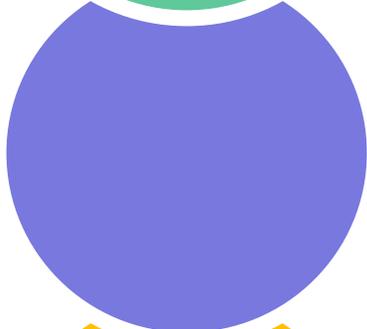
自己資本比率

計画達成

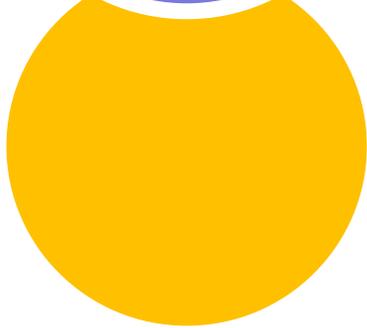




販売及び仕入の強化



短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築



資本政策と財務基盤の強化

販売及び仕入の強化

施策	状況	評価
戦略品種の拡販策の実行	⇒ 提案型営業活動の徹底により戦略品種の売上増	◎
新製品Laboシリーズの追加ラインナップ	⇒ Laboシリーズは全部で5機種開発済	◎
調達機能の見直し	⇒ 海外調達等、機能面が充実	○
各種展示会へ出展	⇒ 会社名・技術力PRのため14回出展済	◎
自社ホームページの全面リニューアル	⇒ リニューアル完了	◎

◎ : 完了 ○ : 実施中 △ : 一部実施中



短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築

施策	状況	評価
戦略品種の製造リードタイム短縮策の展開	⇒ 主力の情報産業用を中心に鉄鋼用も短縮	◎
設備投資・内製化推進による外注費等削減策の展開	⇒ 設備投資によるコストダウン、省人化の推進	◎
東洋刃物グループでの最適な生産体制の見直し	⇒ 一部品種については生産性が向上	○
生産管理システム構築、基準値の見直し	⇒ 生産管理システムではIotの導入を検討 新基準値は検証と見直しに着手	○

◎ : 完了 ○ : 実施中 △ : 一部実施中

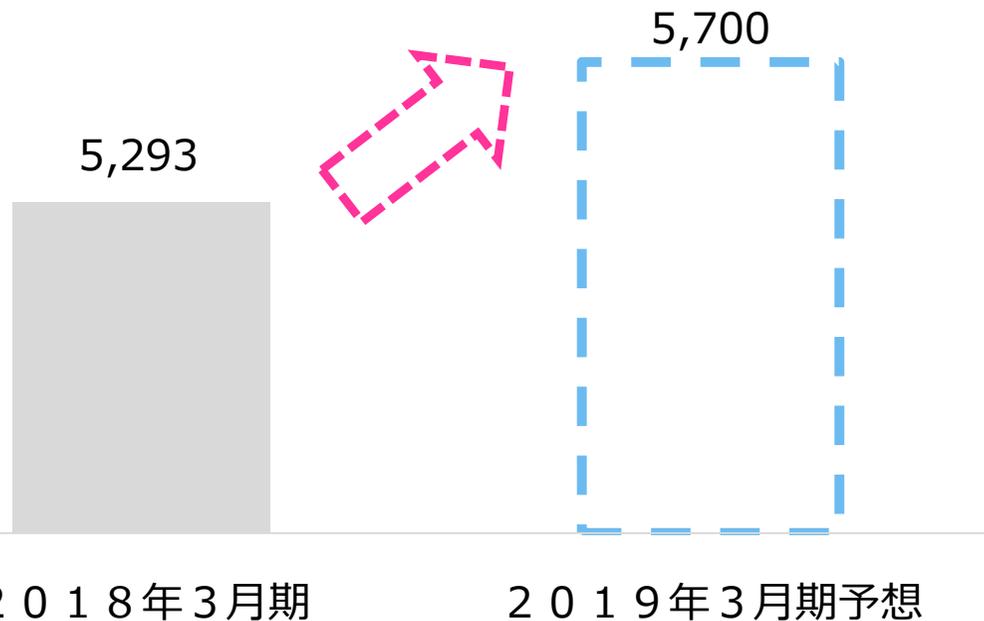
資本政策と財務基盤の強化

施策	状況	評価
繰越剰余金の損失を解消	⇒ 2017年3月期に減資により解消	◎
リファイナンスによる財務基盤の安定化及び金融費用の低減	⇒ 2017年3月期にシンジケートローン実施済	◎
自己株式取得	⇒ 2017年3月期実施済	◎

◎ : 完了 ○ : 実施中 △ : 一部実施中

売上高

(単位：百万円)



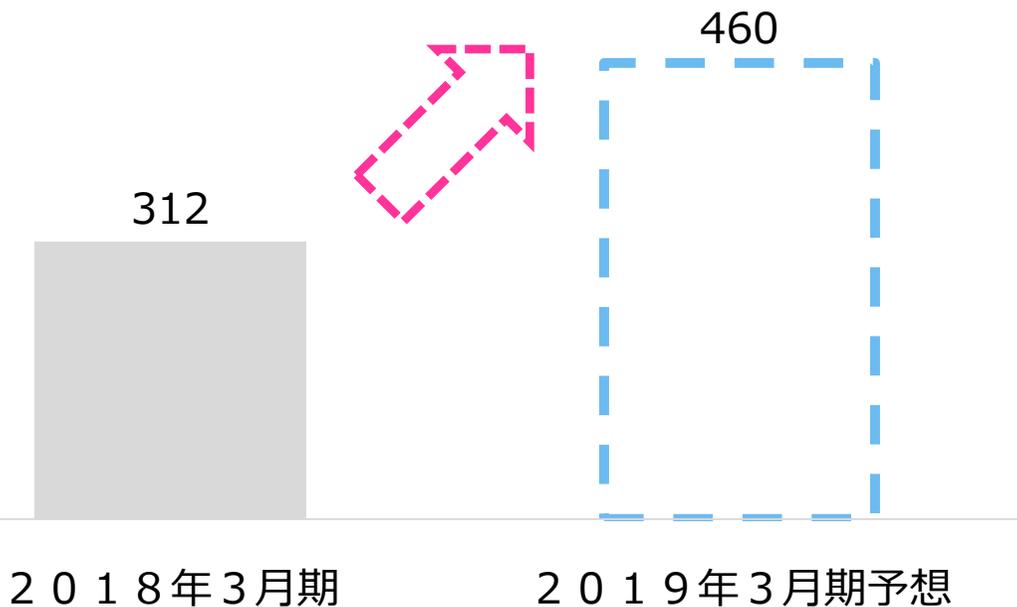
8%増

用途別事業環境

- 情報産業用 ⇒ スマートフォン等、様々な高機能フィルムの需要が見込まれる
- 鉄鋼用 ⇒ 五輪施設、インフラ、自動車業界向けが堅調なため、需要が見込まれる
- 産業用機械及び部品 ⇒ 工作機械業界は企業の設備投資動向が堅調なため、需要が見込まれる
- 製紙パルプ用 ⇒ ダンボール生産量は過去最高の見通しのため、需要が見込まれる

営業利益

(単位：百万円)



47%増

主な利益変動要因影響

- 主力の情報産業用を中心に幅広く需要を取込み、増益が見込まれる
- 生産性の改善活動を強化し、売上原価率の低減が見込まれる
- 業務改善による各種経費の削減が見込まれる
- 諸資材等の価格上昇が懸念される

1. 東洋刃物の概要

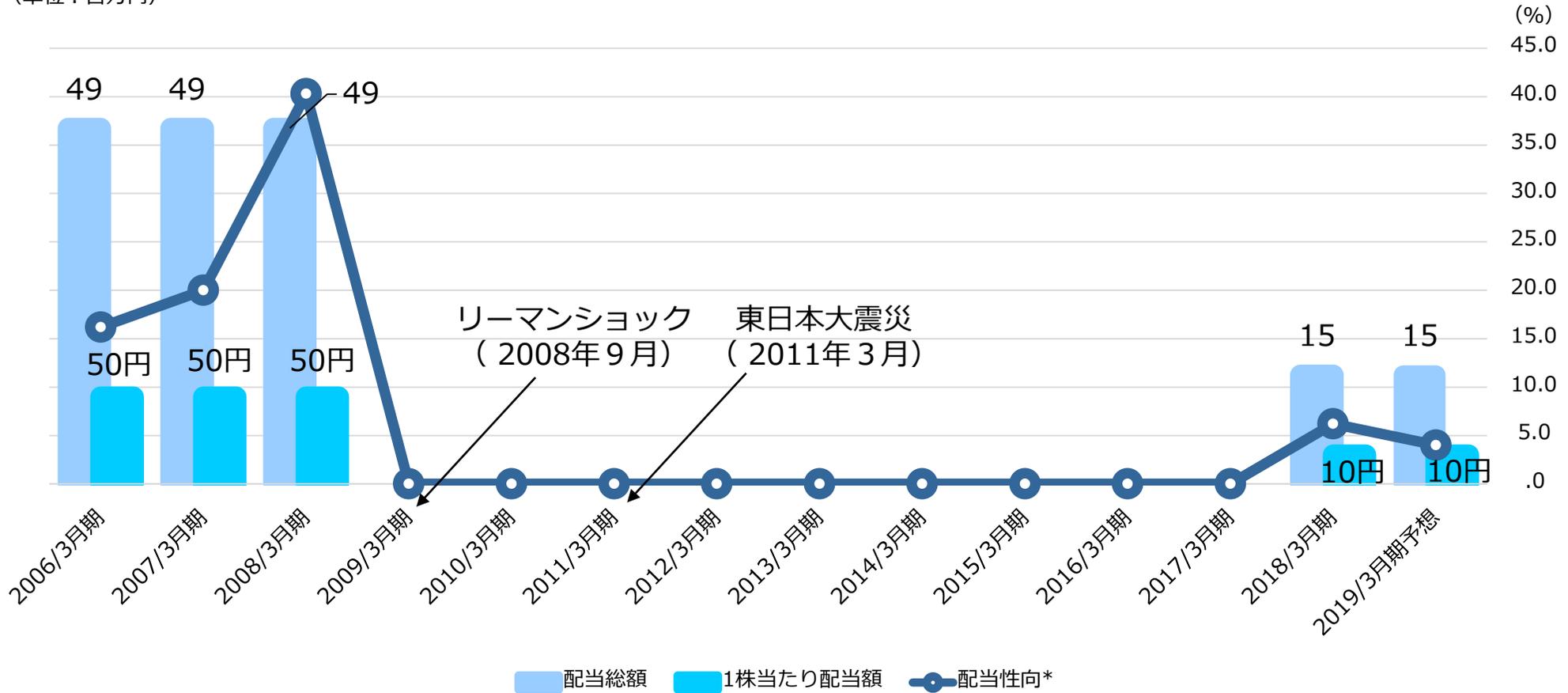
2. 東洋刃物の強み

3. 業績推移

4. 今後の計画と展望

5. 株主還元

(単位：百万円)



* 配当性向 = 配当金総額 ÷ 当期純利益

* 1株あたり年間配当金は株式併合後換算により記載

基本方針

当社は、将来に向けた事業展開のため財務体質と経営基盤の強化を図り株主資本の充実に努めるとともに、収益動向などを総合的に勘案し業績に相応した配当を実施し、また、財務状況や株式市場などを勘案しながら適宜自己株買いを実施していく方針であります。

配当

当期の配当につきましては、今後の業績・事業展開等を勘案し、継続して **1株当たり10円** の配当予想としております。

株価推移



* 終値ベース

* 2015年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

◆連結経営指標

(単位：百万円)

		2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/2Q
P/L	売上高	4,910	4,975	5,293	2,842
	営業利益	262	293	312	258
	経常利益	184	207	259	222
	当期純利益	140	266	246	223
B/S	現預金	1,783	1,947	1,988	2,116
	資産計	6,132	6,314	6,717	6,775
	負債計	4,882	4,789	4,967	4,843
	純資産計	1,249	1,524	1,750	1,931
自己資本比率		20.3%	24.1%	26.0%	28.5%
簡易CF	営業活動によるCF	316	400	331	261
	投資活動によるCF	△ 46	△ 34	△ 169	△ 58
	フリーCF	270	366	162	203
	財務活動によるCF	332	△ 176	△ 135	△ 70

◆その他指標

	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/2Q
自己株式取得額	—	27百万円	—	—
配当金総額	—	—	15百万円	—
総還元性向	—	10.3%	6.2%	—
時価総額	11億43百万円	13億29百万円	17億16百万円	22億46百万円
連結PER（株価収益率）	5.2倍	4.9倍	6.8倍	5.5倍
連結PBR*（株価純資産倍率）	1.8倍	0.7倍	0.8倍	1.1倍
連結ROE（自己資本利益率）	13.3%	19.2%	15.1%	20.5%

* PBR = 年平均株価 / 一株当たり株主資本

ご清聴ありがとうございました。

本件に関するお問合せは、
管理部 IR担当（022-358-8911）までお願いいたします。

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

また、本資料の内容、テキスト、画像等の無断転載・転用はお断りさせていただきます。